

# 門川町

## 御巳蔵さんのおみくら の伝説



門川湾に面した  
門川町は漁業の盛んな町です



その湾の  
中には  
まるで乙女が  
寝そべって  
いるような  
優しい形の  
乙島が浮び



出入りの多い複雑な地形の  
海岸線には  
潮に侵食された奇岩や  
洞窟もあります

複雑な形の海岸線や  
小島の浮ぶ湾は  
魚の住みかには絶好の  
条件ですから  
昔からこの地方は  
漁業が盛んでした





昔——  
この地域の人たちは  
魚を獲り  
田畑を耕して  
生活していました

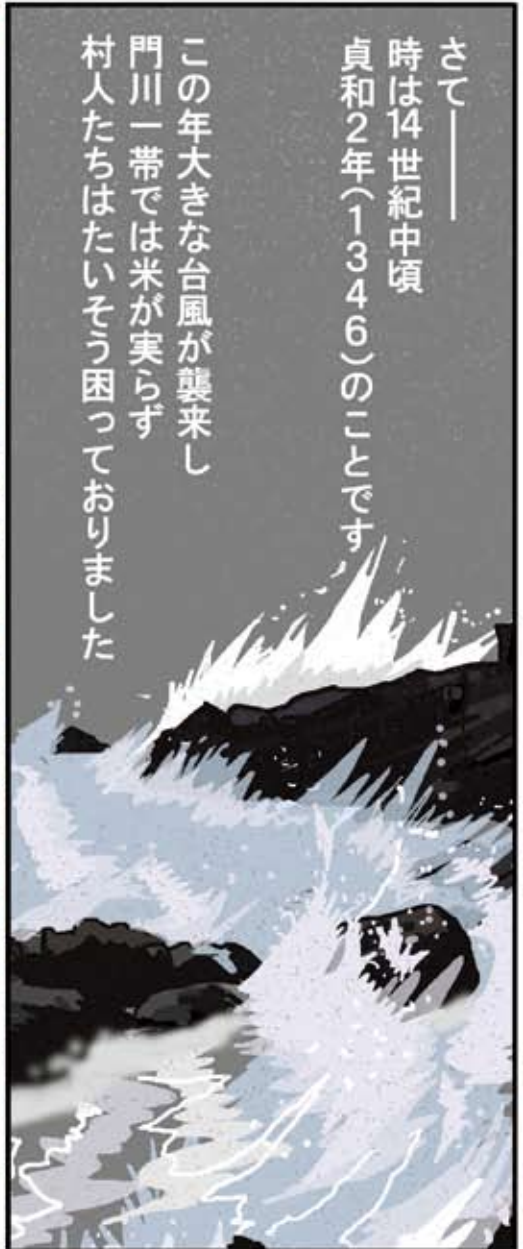


しかし  
ここは  
台風銀座と呼ばれる  
日向灘です  
台風や嵐で飢饉になる年も  
ありました



さて——  
時は14世紀中頃  
貞和2年(1346)のことです

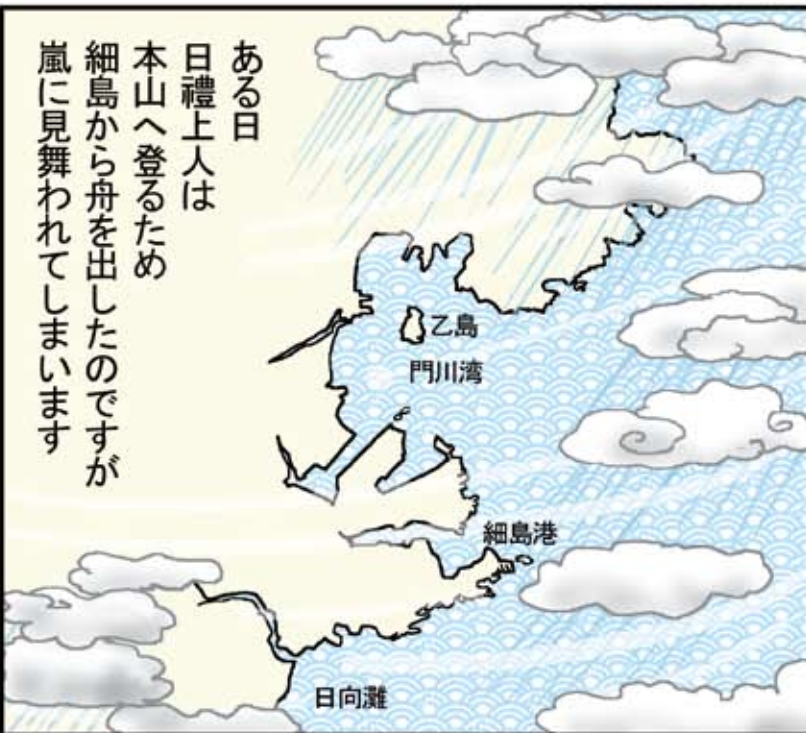
この年大きな台風が襲来し  
門川一帯では米が実らず  
村人たちはたいそう困っておりました



その頃  
財光寺村(現日向市)の  
定善寺に  
日禮上人という  
徳の高い僧がいました



ある日  
日禮上人は  
本山へ登るため  
細島から舟を出したのですが  
嵐に見舞われてしまいます





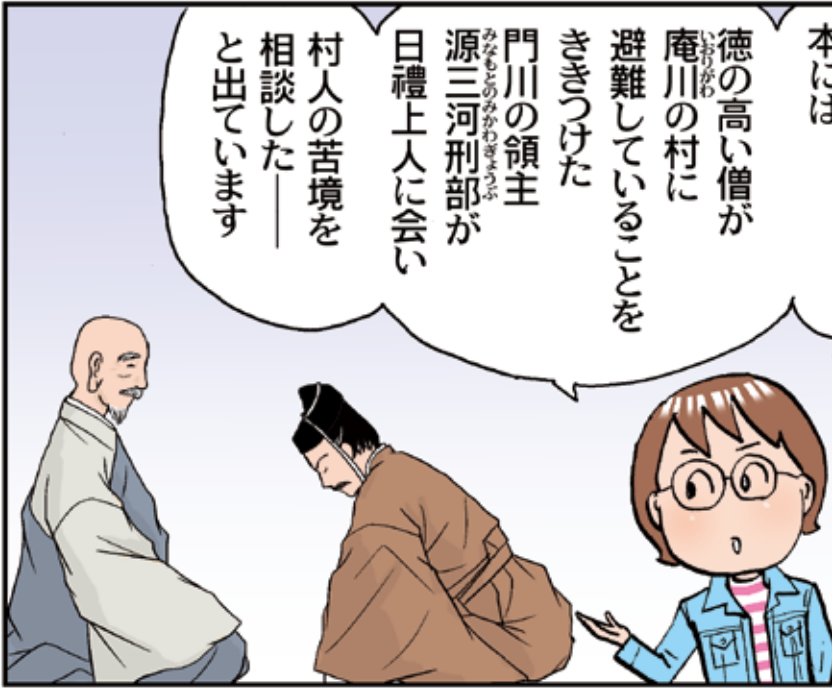
荒れ狂う波に呑みこまれそうになり  
日禮上人は門川湾へ避難しました

ダイジエスト版の  
本には

徳の高い僧が  
庵川の村に  
避難していることを  
ききつけた

門川の領主  
源三河刑部が  
日禮上人に会い

村人の苦境を  
相談した  
と出ています



その後  
上人の教えに従い  
亀の首に社を建てると  
海も鎮まり  
豊作が続いた  
ということにな  
つていますが

実はこれ  
すごく省略してあるん  
です



古文書写  
當山縁起  
法蔵寺によると

日禮上人が  
房州妙本寺に登山する折  
悪天候のため門川の浦に  
舟をつけました

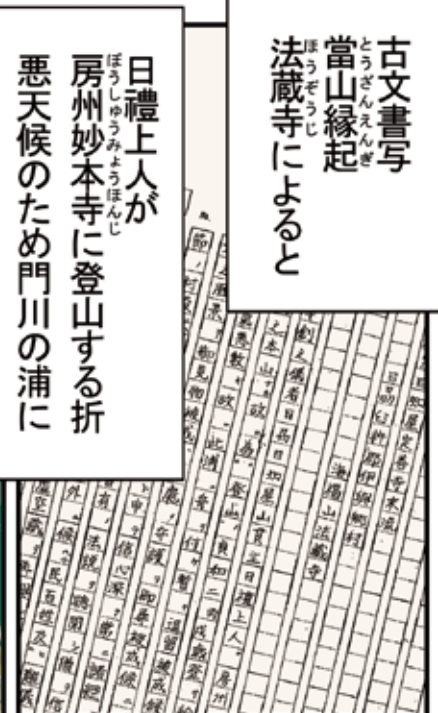
しばらく逗留し  
あたりを見て廻り  
ここの守護は誰かと  
尋ねたところ

源三河刑部という  
常に諸経を読む  
信心深い村役がいると  
知ります

つまり！  
日禮上人の方から  
この村の守護は誰かと  
たずねているわけです！

ここの  
守護は  
どなた  
かな？

はい  
源三河刑部さま  
でございます







日禮上人は  
刑部に会いに行き  
そこで  
素晴らしい  
説法をします

法話を聞いた刑部は  
ますます信仰心を  
強めました  
そして村人たちの  
難儀苦しみを  
上人に話したのです



その前に  
村を見廻つてるわけですから  
村の窮状はある程度  
把握していただのでしよう

ここは  
大変なところじゃなあ

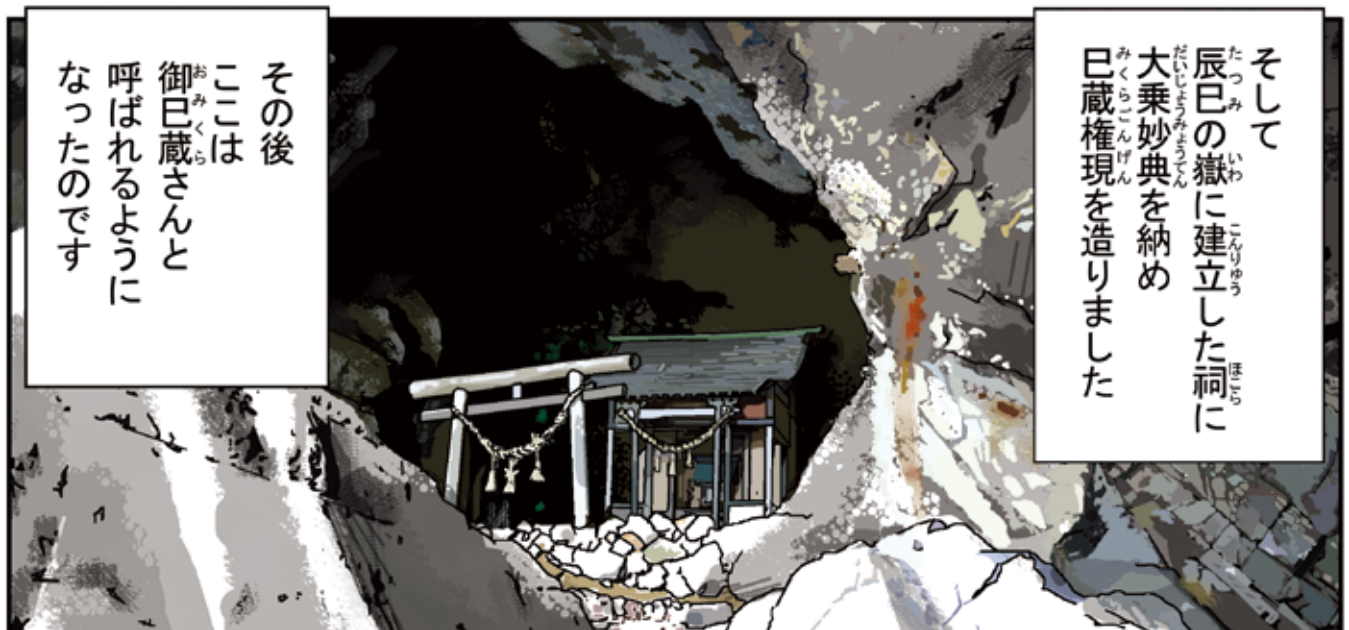
なにか  
助言して  
やりたいものじゃ…



村人たちは  
言われた通り  
虚空蔵に  
祈念を捧げたところ  
四海の波も  
おさまりました



すると上人は  
虚空蔵を再興し  
常に念じ祈念すれば  
波もおさまるだろうと  
説きました



そして  
辰巳の嶽に建立した祠に  
大乘妙典を納め  
巳蔵権現を造りました

その後  
ここは  
御巳蔵さん  
と呼ばれるように  
なったのです

刑部は上人の教えを聞き  
信仰心は日ごと増すばかり



のちに  
上人の弟子になり  
出家して庵川の  
法蔵寺を開きました

というのが  
本来のストーリーです



ダイジェスト版では  
台風で困っていた村人を  
上人が助けたというところに  
主題が置かれていますが



法蔵寺に残る  
古文書では  
刑部の信仰心の高さ  
上人の偉大さが  
伝わってきます



さて  
私がふと疑問に  
思うのは

日禮上人は  
なぜ亀の首に  
祠を建造させたのか  
ということです



今回取材で  
写真を撮りに行きましたが

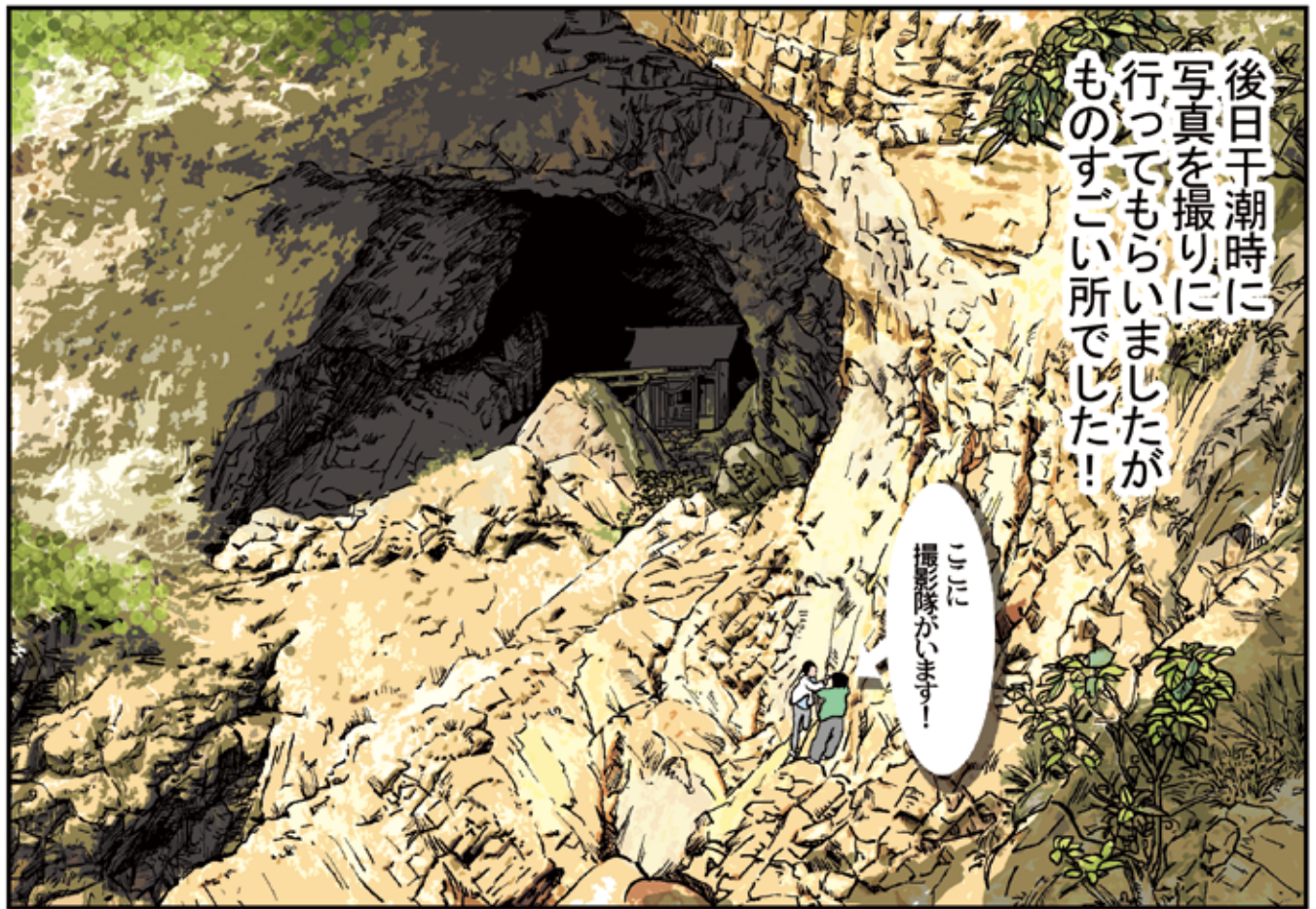
大の男が  
途中で断念したほど  
けわしい所にあるのです



これ以上は  
かりです

はい





後日干潮時に  
写真を撮りに  
行ってもらいましたが  
ものすごい所でした!

ハハハ  
撮影隊がいます!



こんな  
けわしいところに  
なぜ祠を建立させたの  
でしょうか!?

いやホント  
危険な所  
なんですから!

一つには  
こういう場所に行つて  
お祀りをするのが  
信仰心を高める  
修行になるから  
なのでしょう

ホントに  
軽い気持ちで  
行ける場所では  
ありません

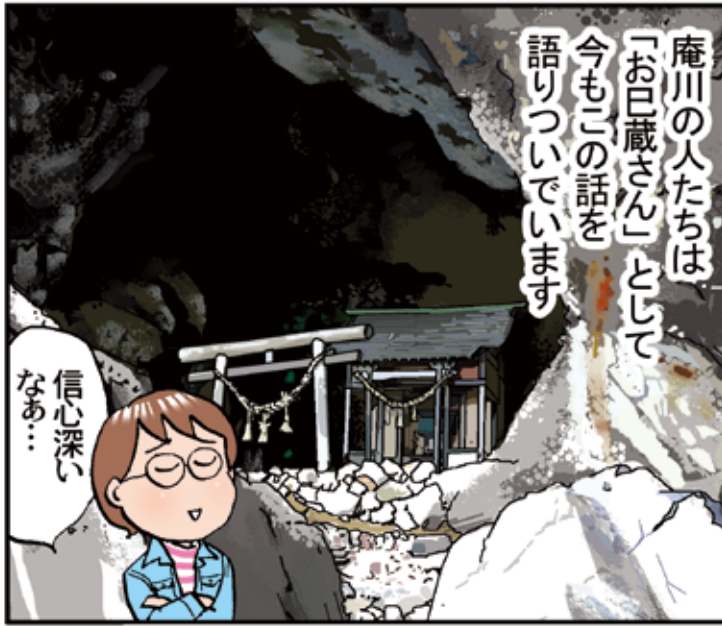


海へ出て  
漁するのは  
危険な仕事です

命をかける仕事には  
何か心の中に  
たよるものが必要なのかも  
しれません

それが  
信仰なのでしょうが





信心深い  
なあ…

庵川の人は「お巳蔵さん」として  
今もこの話を語りついでいます



門川では  
日禮上人の言う通りに  
虚空蔵を祀り  
祈念したことにより  
その年は台風もなく  
大豊作になった…と  
伝えられています

その後村人は  
日禮上人を  
神様とたたえたのです



そうかも！

巳蔵さんが建立されてから  
台風の被害が減ったのは  
自然に対する畏怖心が生んだ  
観察力のたまものだったんじゃないかな？



信仰とは  
自然に対する敬いと怖れの心が  
ベースにあります

海を空を敬い怖れ  
虚空蔵に祈る村人たちは  
以前よりももっと深く  
自然を観察するようになった  
のではないのでしょうか



門川の村人たちの  
信心深さが  
日禮上人を救ったん  
ですね！

法蔵寺には  
日禮上人の文書も  
現存しており  
廃仏毀釈の嵐から無事に  
のがれたようです



明治時代  
日本中に廃仏毀釈の  
動きが起りましたが